

75gブドウ糖負荷試験(75gOGTT)

★75gOGTTのやり方

- ・検査前日は過激な運動や大量の飲酒は禁止。
- ・検査前日午後9時以降は絶食。飲水は可。
- ・検査当日は10～14時間絶食後の早朝空腹時に検査開始。
- ・ブドウ糖75gに相当するオリゴ糖(トレランGなど)を5分以内に経口投与
- ・採血は糖負荷前、および負荷開始後30、60、90、120分に行ない、血糖値、血清IRI値を測定。
- ・検査中は坐位にて安静にし、喫煙は禁止。

★空腹時血糖値および75gOGTTによる判定区分と判定基準

グルコース濃度 (静脈血漿)	血糖測定時間			判定区分
	空腹時		負荷後2時間	
	126mg/dl以上	←または→	200mg/dl以上	
	糖尿病型にも正常型にも属さないもの			
	110mg/dl未満	←および→	140mg/dl未満	

注1) 血糖値は、特に記載のない場合には静脈血漿値を示す。

注2) 正常型であっても1時間値が180mg/dl以上の場合には180mg/dl未満のものに比べて糖尿病に悪化する危険が高いため、境界型に準じた取り扱い(経過観察など)が必要である。

また、空腹時血糖値が100～109mg/dlは正常域ではあるが、「正常高値」とする。

この集団は糖尿病への移行やOGTT時の耐糖能障害の程度から見て多様な集団であるため、OGTTを行なう事が勧められる。

★インスリン初期分泌能の計算

Insulinogenic Index (II) =
$$\frac{\text{インスリン30分値}-\text{インスリン前値}(\mu\text{U/ml})}{\text{血糖30分値}-\text{血糖前値}(\text{mg/dl})}$$

2型糖尿病患者ではインスリンの初期分泌が不良のため、IIが0.4未満となる。

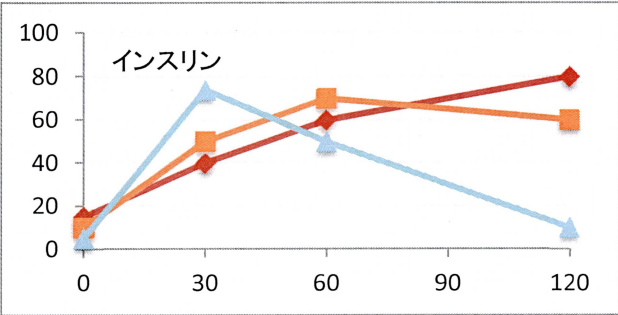
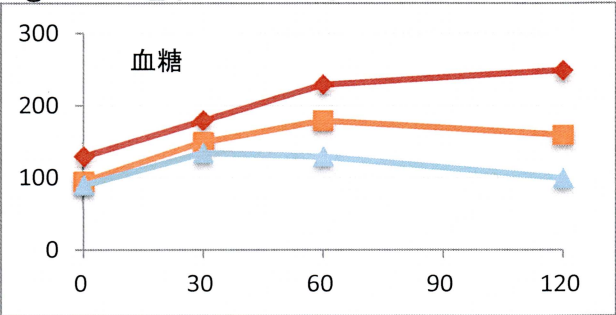
境界型の患者でもこの値が0.4未満のものは糖尿病に進展する危険が高い。

★インスリン抵抗性の計算

HOMA-R =
$$\frac{\text{空腹時インスリン} \times \text{空腹時血糖}}{405}$$

この値が1.6以下の場合には正常、2.5以上の時にインスリン抵抗性があると考えられる。

★75gOGTTを行なった時の血糖とインスリンの動き



氏名	0分	30分	60分	90分	120分